

令和 7 年度 第 3 回 大阪府立桜塚高等学校 学校運営協議会 議事録

令和 8 年 1 月 26 日 (月)

校長

委員 元森ノ宮医療学園校長（元大阪府立高校校長）、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、尚和会会长、
桜援会会长

事務局 教頭、事務部長、首席（2名）、教務主任、教務部副主任（情報）、生徒指導主事、
生徒指導部副主任（自治会）、進路指導主事、保健主事、各学年主任、書記

1 会長・校長 挨拶

2 報告

〈令和 7 年度学校評価について〉

学校経営計画に関連して、今年度は学校行事の肯定率が向上したことが喜ばしい。次年度は新施設「SAKULABO」の誕生を機に、図書館の来館者数 4000 名以上を目指すなど、地域連携をさらに高めていきたい。探究活動においても、豊中商工会議所と連携した地域に根ざした活動が本校の魅力の一つとなっている。広報面では、今年度初めて HP の活用率が 100% に達したほか、Instagram での発信も強化している。また、3 月に実施予定のニュージーランド海外研修については、姉妹校交流予算をいただけたことは大変ありがたかった。働き方改革の観点でも、本校では改善傾向にあると考えている。

〈授業アンケート結果について〉

全項目において昨年度比で向上、または維持となった。特に「目標・ポイントの説明」や「生徒が主体的に参加できる工夫」の数値が高く、組織的な授業改善の成果が表れている。

〈学校教育自己診断〉

生徒診断では、全 28 項目中 25 項目で肯定率が向上。「学校行事の工夫」や「教え方の工夫」、「国際理解の機会」等が顕著に向上した。保護者診断でも全体として評価が向上しており、信頼感が増している。一方で「家庭での会話」が大幅に低下しており、家庭との連携が今後の課題である。

3 協議

＜令和8年度 学校経営計画及び中期的目標案について＞

- ・SAKULABO を核とした地域連携の推進。
- ・学校の組織力向上のため、従来の「SPT(重点業務推進チーム)」を委員会へと再編整備し、より機動的な組織作りを進めていきたい。

地域連携・桜協定についての意見

小山会長 昔、商店街に生徒作品の看板を掲示していたように、地域に喜ばれる関わりができるとよい。桜協定や大槌高校とのつながりは近年どうか。

田尻校長 この夏、大槌高校など被災地を実際に訪問した。話と実物は全然違う。当時の先生方の判断の難しさを推察した。

小山会長 ボランティア交流を機に進路を建築へ変えた生徒もいたのが印象的だ。協定が今も続いていることは頼もしく、感謝している。

委員による承認

4 本年度の取り組みについて

〈授業改善の取り組みについて〉

ICT活用研修では、AI活用スキルの共有により授業改善の幅がより一層広がった。

〈生徒指導状況について〉

さまざまな課題を抱える生徒がいるため、一人ひとりに寄り添いながら指導している。スカート丈や制服の着こなしといった身だしなみについても、指導の先に整えていきたい。挨拶運動は自治会の生徒を中心に実践されており、引き続き指導を進めていく。

委員による意見

小山会長 遅刻数の増減については、その時々のイベント等の影響もあるが、クラス数が増えている中で遅刻数が減っていることは素晴らしい。

〈学校行事について〉

体育祭は今年も盛り上がりを見せた。新しい競技の考案や、9団編成の場合の9色のカラーバリエーションの変更も検討している。桜花祭は、コロナ以降2日間開催を続けてきたが、1日開催に戻すべく検討を重ねている。加えて、文化祭でのキャッシュレス決済導入も検討中である。

〈78期進路状況について〉

総合型選抜や学校推薦型選抜を積極的に受験している印象がある。合格者数の例年比の大きな変動としては、大阪工業大学や関西外国語大学が増加し、武庫川女子大学が減少した。共通テストの速報については、国公立大学志望者の平均点が向上傾向にあるのは喜ばしいところである。

〈各学年の状況について〉

第2学年 進路に向け「3年生0学期」を意識し、塾に通うなど勉強を本格化させる生徒が増えた。模試分析では数学が得意で英語が苦手な傾向がある。外部模試の受験も勧めている。長期欠席者は例年より少ないが、今年導入の通信制度を含め、注意深く生徒を見守りたい。

第3学年 受験目前で全体の雰囲気もよく、しっかり向き合っている。中学3年間をコロナ禍で過ごした学年で、入学当初は大変だったが、学年団全体で寄り添い、生徒とともに歩んできた。それだけに3年間で大きく成長した学年である。

その他 委員による意見

溝畠委員 1年間お世話になった。保護者の立場から参加できてよかったです。

吉岡校長 中学生の私学専願が増えている中、桜塚高校は人気があり、これからも期待している。中学校でも保護者同士の繋がりが希薄となっており、課題を感じている。働き方改革は、やはり部活動が大きな要因となりなかなか減らない現状がある。また、LGBTQに配慮した制服など、生徒にとって過ごしやすい環境にはなってきている。今後も地域全体で教育活動を支えていければと思う。

小山会長 私が校長として在任した時代から変わったこと、変わっていないこと含めて、感慨深い。今後も本校に期待している。

伴野委員 かつて女子生徒から「絶対に制服を変えてくれ」と言われたことを覚えている。実際に制服が変わり、さまざまな変化を感じている。今後も小中学校や地域とともに、ますます歩み続けてほしいと思う。